

腸に二百十日の過ぎにけり

野本 京

学生時代に通った喫茶「セザンヌ」。ママの大野稜いっ子さんは茶道の先生で俳句もしていた。その着物姿に憧れ私はお茶に入門。姉妹店のクラシック喫茶「リベルテ」で「高知鷹句会」の指導者、揚田蒼生そうせいさんと出会った。昭和五十五年「鷹」入会。初掲載の句。

昭和五十五年作